

救命救急センターの評価結果（平成17年度）について

1 評価の目的

- 救命救急センターの評価については、救急医療体制基本問題検討会報告書（平成9年12月）における「既存の救命救急センターを再評価し、その機能を強化する」との提言等を踏まえ、平成11年度から救命救急センター全体のレベルアップを図ることを目的として実施している。
- 評価結果は、救命救急センターに対する運営費補助（30床以上で補助基準額135百万円。国庫補助率1/3）に反映させている。

- ・ 充実段階A：補助基準額の100%を交付
- ・ 充実段階B：補助基準額の90%を交付
- ・ 充実段階C：補助基準額の80%を交付

2. 評価結果の概要

- 平成16年12月31日までに運営を開始した全国174ヶ所の救命救急センターを対象としており、各センターの評価結果（充実段階）は、資料1のとおりである。
- 充実段階Aと評価された施設の割合は97.7%であり（平成16年度は95.9%）、ほとんどの施設が充実段階Aとなっている。（資料2、3参照）

3. 評価の方法及び評価結果に関する留意事項

- 各救命救急センターからの診療体制や患者受入実績等に関する報告結果を点数化し、当該点数を基本として、各施設の充実段階をA、B、Cに区分した。（資料4参照）
- 評価の対象となった診療体制等は、平成16年の実績に基づいている。
- 評価は、診療の体制面を中心に行っており、各救命救急センターの診療水準そのものを評価したものではない。

4. 新型救命救急センターの評価について

- 平成16年度から運営を開始した新型救命救急センター（10～19床規模）について、別途評価方法を定め（資料5参照）、評価を行った。

救命救急センター別充実段階(平成17年度)

番号	都道府県名	施設名	区分	開設者	評価
1	北海道	旭川赤十字病院		日赤	A
2		北海道がんセンター		国立病院機構	A
3		市立函館病院		函館市	A
4		市立釧路総合病院		釧路市	B
5		総合病院北見赤十字病院		日赤	A
6		市立札幌病院		札幌市	A
7		帯広厚生病院		厚生連	A
8		札幌医科大学医学部附属病院		北海道	A
9	青森県	青森県立中央病院		青森県	A
10		八戸市立市民病院		八戸市	A
11	岩手県	岩手医科大学附属病院		学校法人	A
12		県立久慈病院		岩手県	A
13		県立大船渡病院		岩手県	B
14	宮城県	仙台医療センター		国立病院機構	A
15		仙台市立病院		仙台市	A
16		古川市立病院		古川市	A
17	秋田県	秋田赤十字病院		日赤	A
18	山形県	山形県立中央病院		山形県	A
19		公立置賜総合病院		事務組合	A
20	福島県	いわき市立総合磐城共立病院		いわき市	A
21		財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院		財団法人	A
22		総合会津中央病院		財団法人	A
23	茨城県	水戸医療センター		国立病院機構	A
24		筑波メディカルセンター病院		財団法人	A
25		総合病院土浦協同病院		厚生連	A
26		茨城西南医療センター病院		厚生連	A
27	栃木県	済生会宇都宮病院		済生会	A
28		足利赤十字病院		日赤	A
29		大田原赤十字病院		日赤	A
30		獨協医科大学病院		学校法人	A
31		自治医科大学附属病院		学校法人	A
32	群馬県	高崎病院		国立病院機構	A
33		前橋赤十字病院		日赤	A
34	埼玉県	さいたま赤十字病院		日赤	A
35		埼玉医科大学総合医療センター		学校法人	A
36		深谷赤十字病院		日赤	A
37		防衛医科大学校病院		防衛庁	A
38		川口市立医療センター		川口市	A
39		獨協医科大学越谷病院		学校法人	A
40	千葉県	千葉県救急医療センター		千葉県	A
41		総合病院国保旭中央病院		事務組合	A
42		国保直営総合病院君津中央病院		事務組合	A
43		亀田総合病院		医療法人	A
44		国保松戸市立病院		松戸市	A
45		成田赤十字病院		日赤	A
46		船橋市立医療センター		船橋市	A

番号	都道府県名	施設名	区分	開設者	評価
47	千葉県	日本医科大学付属千葉北総病院		学校法人	A
48	東京都	日本医科大学附属病院		学校法人	A
49		東京医療センター		国立病院機構	A
50		東邦大学医学部附属大森病院		学校法人	A
51		杏林大学医学部附属病院		学校法人	A
52		都立広尾病院		東京都	A
53		東京医科大学八王子医療センター		学校法人	A
54		武蔵野赤十字病院		日赤	A
55		帝京大学医学部附属病院		学校法人	A
56		日本医科大学附属多摩永山病院		学校法人	A
57		都立墨東病院		東京都	A
58		東京女子医科大学病院		学校法人	A
59		都立府中病院		東京都	A
60		駿河台日本大学病院		学校法人	A
61		日本大学医学部附属板橋病院		学校法人	A
62		公立昭和病院		事務組合	A
63		災害医療センター		国立病院機構	A
64		東京医科大学病院		学校法人	A
65		昭和大学病院		学校法人	A
66		東京女子医科大学附属第二病院		学校法人	A
67		聖路加国際病院		財団法人	A
68	青梅市立総合病院		青梅市	A	
69	神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院		学校法人	A
70		横浜医療センター		国立病院機構	A
71		北里大学病院		学校法人	A
72		東海大学医学部附属病院		学校法人	A
73		昭和大学藤が丘病院		学校法人	A
74		聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院		学校法人	A
75		横浜国立大学医学部附属市民総合医療センター		横浜市	A
76	新潟県	長岡赤十字病院		日赤	A
77		新潟市民病院		新潟市	A
78		新潟県立中央病院		新潟県	A
79	富山県	富山県立中央病院		富山県	A
80		厚生連高岡病院		厚生連	A
81	石川県	石川県立中央病院		石川県	A
82		公立能登総合病院		事務組合	A
83	福井県	福井県立病院		福井県	A
84	山梨県	山梨県立中央病院		山梨県	A
85	長野県	昭和伊南総合病院		事務組合	B
86		長野赤十字病院		日赤	A
87		佐久総合病院		厚生連	A
88	岐阜県	県立岐阜病院		岐阜県	A
89		県立多治見病院		岐阜県	A
90		総合病院高山赤十字病院		日赤	A
91		大垣市民病院		大垣市	A
92		岐阜県厚生農業組合連合会中濃厚生病院		厚生連	A
93		岐阜大学医学部附属病院		国立大学法人	A
94	静岡県	静岡済生会総合病院		済生会	A
95		順天堂大学医学部附属静岡病院		学校法人	A

番号	都道府県名	施設名	区分	開設者	評価
96	静岡県	県西部浜松医療センター		浜松市	A
97		静岡赤十字病院		日赤	A
98		聖隷三方原病院		社会福祉法人	A
99		沼津市立病院	新型	沼津市	A
100	愛知県	名古屋掖済会病院		社団法人	A
101		名古屋医療センター		国立病院機構	A
102		愛知医科大学附属病院		学校法人	A
103		藤田保健衛生大学病院		学校法人	A
104		岡崎市民病院		岡崎市	A
105		豊橋市民病院		豊橋市	A
106		名古屋第二赤十字病院		日赤	A
107		小牧市民病院		小牧市	A
108		安城更生病院		厚生連	A
109		社会保険中京病院		社団法人	A
110	名古屋第一赤十字病院		日赤	A	
111	三重県	山田赤十字病院		日赤	A
112		三重県立総合医療センター		三重県	A
113	滋賀県	大津赤十字病院		日赤	A
114		長浜赤十字病院		日赤	A
115		済生会滋賀県病院		済生会	A
116	京都府	京都第二赤十字病院		日赤	A
117		京都医療センター		国立病院機構	A
118		京都第一赤十字病院		日赤	A
119	大阪府	大阪府立急性期・総合医療センター		大阪府	A
120		関西医科大学附属病院		学校法人	A
121		大阪府立千里救命救急センター		大阪府	A
122		大阪医療センター		国立病院機構	A
123		近畿大学医学部附属病院		学校法人	A
124		大阪府三島救命救急センター		財団法人	A
125		大阪府立総合医療センター		大阪市	A
126		大阪府立泉州救命救急センター		大阪府	A
127		大阪府立中河内救命救急センター		大阪府	A
128		大阪大学医学部附属病院		国立大学法人	A
129	兵庫県	神戸市立中央市民病院		神戸市	A
130		兵庫医科大学病院		学校法人	A
131		県立姫路循環器病センター		兵庫県	A
132		公立豊岡病院但馬救急センター		事務組合	A
133		兵庫県災害医療センター		兵庫県	A
134	奈良県	県立奈良病院		奈良県	A
135		奈良県立医科大学附属病院		奈良県	A
136		近畿大学医学部奈良病院		学校法人	A
137	和歌山県	日本赤十字社和歌山医療センター		日赤	A
138		和歌山県立医科大学附属病院		和歌山県	A
139	鳥取県	鳥取県立中央病院		鳥取県	A
140		鳥取大学医学部附属病院	新型	国立大学法人	A
141	島根県	島根県立中央病院		島根県	A
142		松江赤十字病院	新型	日赤	A
143	岡山県	川崎医科大学附属病院		学校法人	A
144		総合病院岡山赤十字病院		日赤	A

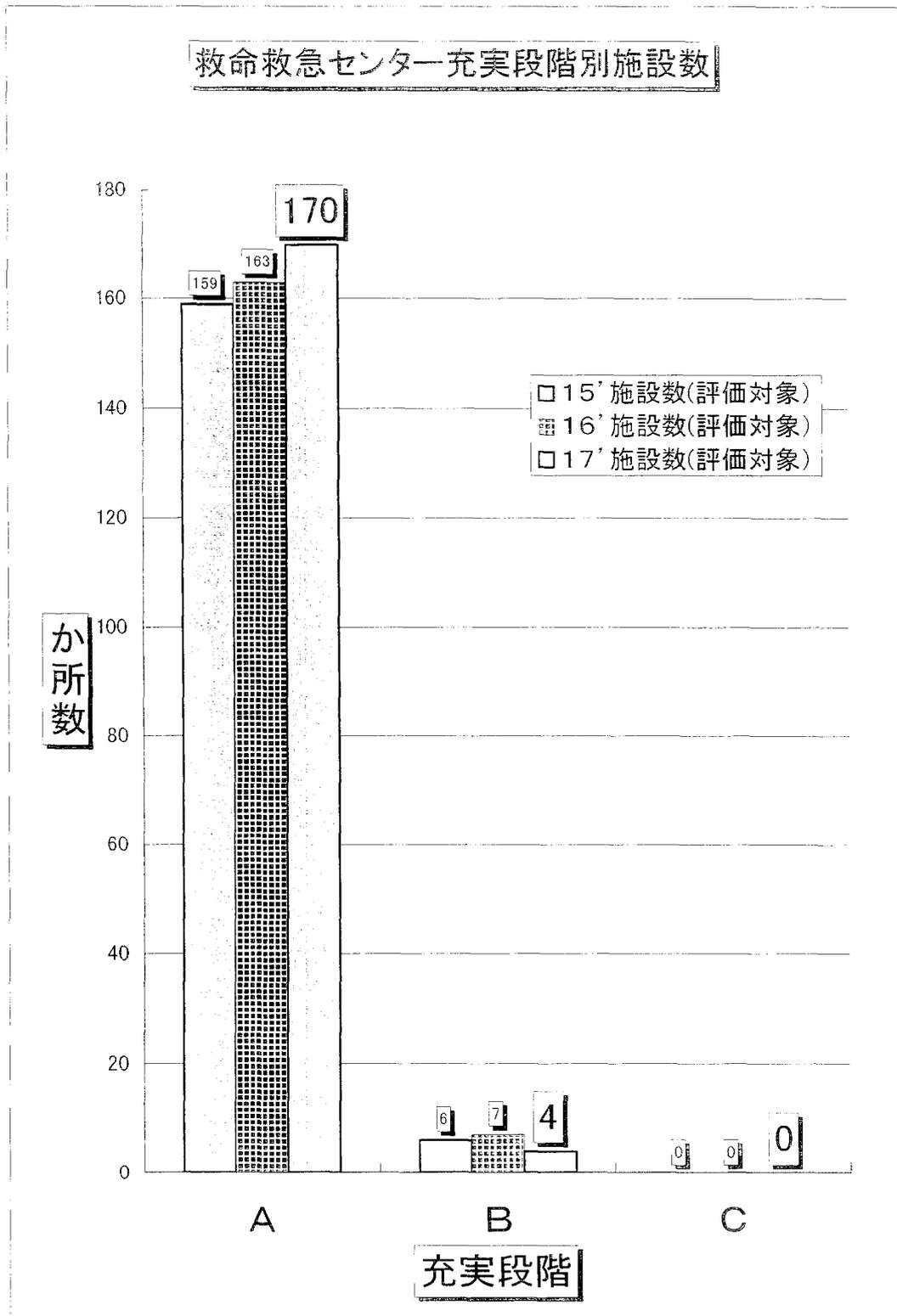
番号	都道府 県名	施設名	区分	開設者	評価
145	岡山県	津山中央病院		財団法人	A
146	広島県	広島市立広島市民病院		広島市	A
147		呉医療センター		国立病院機構	A
148		県立広島病院		広島県	A
149	山口県	岩国医療センター		国立病院機構	A
150		山口県立総合医療センター		山口県	A
151		山口大学医学部附属病院		国立大学法人	A
152	徳島県	徳島県立中央病院		徳島県	A
153		徳島赤十字病院		日赤	A
154	香川県	香川県立中央病院		香川県	A
155		香川大学医学部附属病院		国立大学法人	A
156	愛媛県	愛媛県立中央病院		愛媛県	A
157		愛媛県立新居浜病院		愛媛県	A
158		市立宇和島病院		宇和島市	A
159	高知県	高知赤十字病院		日赤	A
160	福岡県	北九州市立八幡病院		北九州市	A
161		済生会福岡総合病院		済生会	A
162		久留米大学病院		学校法人	A
163		飯塚病院		株式会社	A
164		福岡大学病院		学校法人	A
165		北九州総合病院		医療法人	A
166	佐賀県	佐賀県立病院好生館		佐賀県	A
167	長崎県	長崎医療センター		国立病院機構	A
168	熊本県	熊本赤十字病院		日赤	A
169		熊本医療センター		国立病院機構	A
170	大分県	大分市医師会立アルメイダ病院		大分市医師会	A
171	宮崎県	県立宮崎病院		宮崎県	B
172		県立延岡病院		宮崎県	A
173	鹿児島県	鹿児島市立病院		鹿児島市	A
174	沖縄県	沖縄県立中部病院		沖縄県	A

※施設名・開設者は平成17年5月1日現在

A…170

B… 4

計 174施設



	A	B	C	計
15' 施設数(評価対象)	159	6	0	165
16' 施設数(評価対象)	163	7	0	170
17' 施設数(評価対象)	170	4	0	174
15' 構成割合(%)	96.4%	3.6%	0.0%	100.0%
16' 構成割合(%)	95.9%	4.1%	0.0%	100.0%
17' 構成割合(%)	97.7%	2.3%	0.0%	100.0%

救命救急センター評価設置主体別充実段階

設置主体	充実段階 A	充実段階 B	充実段階 C	合 計
国	20 施設 (100 %)	0 施設 (0 %)	—	20 施設 (100 %)
自治体	66 施設 (94.3 %)	4 施設 (5.7 %)	—	70 施設 (100 %)
公 的 3 団 体	38 施設 (100 %)	0 施設 (0 %)	—	38 施設 (100 %)
民 間 (私立医大等)	46 施設 (100 %)	0 施設 (0 %)	—	46 施設 (100 %)
全 体	170 施設 (97.7 %)	4 施設 (2.3 %)	—	174 施設 (100 %)

※ 国には、国立病院機構、国立大学法人を含む。

※ 公的3団体は、日赤、済生会、厚生連。

救命救急センターの充実段階の評価方法について

- 1 「救急医療対策事業等の現況調について（平成15年12月末現在）」による調査の回答結果等に基づき、「救命救急センターの評価項目及び配点」に基づく配点を行い、その合計点数の区分に応じ、次表のと通りの「充実段階」として評価する。

19点以上	充実段階A
12点以上18点以下	充実段階B
11点以下	充実段階C

- 2 上記の充実段階に関わらず、下記内容のすべてを満たす救命救急センターについては、「充実段階A」として評価する。

- ・ 重症患者数 750人以上 かつ
- ・ 在院日数 7日以内 かつ
- ・ 病床利用率 75%以上 かつ
- ・ 診療点数 12,000点以上 かつ
- ・ 院外患者受入率 55%以上

救命救急センターの評価項目及び配点

- 1 二次医療圏における救急医療関係者協議会への参加状況
 - ・ 参加していない : Δ 1点

- 2 併設（母体）病院内におけるセンター機能の評価委員会の設置状況
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点
 - ※ 単独センターにおいては、センター内設置で加点

- 3 空床確保の責任体制
 - ・ 併設（母体）病院で確保 : 2点
 - ・ センターで確保 : 0点
 - ※ 単独センターにおいては、センター確保で加点

- 4 空床確保数
 - ・ 5床以上 : 3点
 - ・ 4床 : 2点
 - ・ 3床 : 1点
 - ・ 特に確保に努めていない。0～2床 : 0点
 - ※ 確保病床数に幅がある場合は、平均、端数切り上げ

- 5 センター担当医師の勤務体制
 - ・ 救急医による専任チーム体制 又は
救急医を核とし各診療科との協力で専任チーム体制 : 3点
 - ・ 救急医を核とした各診療科との当直体制 : 2点
 - ・ その他 : 0点

- 6 救急専用電話の有無
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点

- 7 救急専用電話の対応体制
 - ・ センター専任医、その他の医師 : 1点
 - ・ 上記以外 : Δ 1点

- 8 「受け入れ不可」の判断体制
- ・ 病院長、センター長、センター専任医以外 : Δ 1点
- 9 救急救命士に対する指示体制
- ・ 救急専用電話により、必ず医師が即応以外 : Δ 1点
- 10 診療データの集計・分析
- ・ 傷病別患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 重傷度分類患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 外傷患者の各種スコア
 - ・ その他
- } : 1点 [全て揃って]
- : 0点
- 11 救急医療についても検討する倫理委員会の設置状況
- ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点
- 12 深夜帯におけるセンターの医師数
- ・ 5人以上 : 3点
 - ・ 4人 : 2点
 - ・ 3人 : 1点
 - ・ 2人以下 : 0点
- 13 深夜帯におけるセンター以外の医師数
- ・ 2人以下 : Δ 1点
- 14 センター病床の稼働率
- (1) 集中治療病室のみ
- ・ 60%未満 : Δ 1点
- (2) 集中治療病室以外
- ・ 70%未満 : Δ 1点
- 15 重症傷病者数
- ・ 1,000人以上 : 3点
 - ・ 750人以上、1,000人未満 : 2点
 - ・ 500人以上、750人未満 : 1点
 - ・ 500人未満 : 0点
- ※ 30床未満のセンターのみ、患者数を30床換算する。

16 専任医師数

- ・ 5人以上 : 3点
- ・ 5人未満 : 0点

17 平均在院日数

- ・ 7日以内 : 3点
 - ・ 7日超、11日以内 : 2点
 - ・ 11日超、14日以内 : 1点
 - ・ 14日超 : 0点
- (センター病床40床
以上の場合
3点
2点
1点)

※ ただし、適用に当たっては、
14(2)が80%以上であること。

18 センター患者1人当たり平均入院診療点数

- ・ 10,000点以上 (センター病床40床
以上の場合
7,000点以上) : 2点
- ・ 10,000点未満 (7,000点未満) : 0点

※ ただし、適用に当たっては、14(2)が80%以上
であること。

19 救命救急士の研修受け入れ実績

- ・ 250人日以上 : 3点
- ・ 150人日以上、250人日未満 : 2点
- ・ 100人日以上、150人日未満 : 1点
- ・ 100人日未満 : 0点

20 貴院における医療事故防止に関するマニュアル

- ・ 無し : △1点

21 貴院における医療事故防止・患者安全をテーマにした研修

- ・ 実施していない : △1点

22 貴院における研修は年2回以上、又は、各部門(医師、看護師、診療技術、
事務)別において年2回以上実施

- ・ している : 2点
- ・ していない : 0点

23 貴院における日本救急医学会専門医または認定医

- ・ いない : △1点(日本救急医学会指導医がいるなら減点しない)

24 貴院における日本救急医学会専門医数（認定医数及び認定医資格も持つ指導医数含む）

(1) センター専任医数

- ・ 5人以上 : 3点
- ・ 4人 : 2点
- ・ 3人 : 1点
- ・ 0～2人 : 0点

(2) センター外常勤医

- ・ 5人以上 : 1点
- ・ 5人未満 : 0点

資料 5

新型救命救急センターの充実段階の評価方法について

- 1 「救急医療対策事業等の現況調について（平成16年12月末現在）」による調査の回答結果に基づき、「新型救命救急センターの評価項目及び配点」に基づく配点を行い、その合計点数を区分に応じ、次表のと通りの「充実段階」として評価する。

19点以上	充実段階A
12点以上18点以下	充実段階B
11点以下	充実段階C

- 2 上記の充実段階に関わらず、下記内容のすべてを満たす救命救急センターについては、「充実段階A」として評価する。

- ・ 重症患者数 250人以上 かつ
- ・ 在院日数 7日以内 かつ
- ・ 病床利用率 75%以上 かつ
- ・ 診療点数 12,000点以上 かつ
- ・ 院外患者受入率 55%以上

新型救命救急センターの評価項目及び配点

- 1 二次医療圏における救急医療関係者協議会への参加状況
 - ・ 参加していない : Δ 1点

- 2 併設（母体）病院内におけるセンター機能の評価委員会の設置状況
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点

※単独センターにおいては、センター内設置で加点

- 3 空床確保の責任体制
 - ・ 併設（母体）病院で確保 : 2点
 - ・ センターで確保 : 0点

※単独センターにおいては、センター確保で加点

- 4 空床確保数
 - ・ 3床以上 : 3点
 - ・ 2床 : 2点
 - ・ 特に確保に努めていない。0～1床 : 0点

※ 確保病床数に幅がある場合は、平均、端数切り上げ

- 5 センター担当医師の勤務体制
 - ・ 救急医による専任チーム体制 又は
救急医を核とし各診療科との協力で専任チーム体制 : 3点
 - ・ 救急医を核とした各診療科との当直体制 : 2点
 - ・ その他 : 0点

- 6 救急専用電話の有無
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点

- 7 救急専用電話の対応体制
 - ・ センター専任医、その他の医師 : 1点
 - ・ 上記以外 : Δ 1点

- 8 「受け入れ不可」の判断体制
- ・ 病院長、センター長、センター専任医以外 : Δ 1 点
- 9 救急救命士に対する指示体制
- ・ 救急専用電話により、必ず医師が即応以外 : Δ 1 点
- 10 診療データの集計・分析
- ・ 傷病別患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 重傷度分類患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 外傷患者の各種スコア
 - ・ その他
- } : 1 点（全て揃って）
- : 0 点
- 11 救急医療についても検討する倫理委員会の設置状況
- ・ 有 : 1 点
 - ・ 無 : 0 点
- 12 深夜帯におけるセンターの医師数
- ・ 3人以上 : 3 点
 - ・ 2人 : 2 点
 - ・ 1人以下 : 0 点
- 13 深夜帯におけるセンター以外の医師数
- ・ 1人以下 : Δ 1 点
- 14 センター病床の稼働率
- (1) 集中治療病室のみ
- ・ 60%未満 : Δ 1 点
- (2) 集中治療室以外
- ・ 70%未満 : Δ 1 点
- 15 重症傷病者数
- ・ 400人以上 : 3 点
 - ・ 250人以上、400人未満 : 2 点
 - ・ 200人以上、250人未満 : 1 点
 - ・ 200人未満 : 0 点

- 16 専任医師数
- ・ 3人以上 : 3点
 - ・ 2人 : 2点
 - ・ 0~1人 : 0点
- 17 平均在院日数
- ・ 7日以内 : 3点
 - ・ 7日超、11日以内 : 2点
 - ・ 11日超、14日以内 : 1点
 - ・ 14日超 : 0点
- 18 センター患者1人当たり平均入院診療点数
- ・ 10,000点以上 : 2点
 - ・ 10,000点未満 : 0点
- 19 救急救命士の研修受け入れ実績
- ・ 50人日以上 : 3点
 - ・ 25人日以上、50人日未満 : 2点
 - ・ 10人日以上、25人日未満 : 1点
 - ・ 10人日未満 : 0点
- 20 貴院における医療事故防止に関するマニュアル
- ・ 無し : Δ 1点
- 21 貴院における医療事故防止・患者安全をテーマにした研修
- ・ 実施していない : Δ 1点
- 22 貴院における研修は年2回以上、又は、各部門（医師、看護師、診療技術、事務）別において年2回以上実施
- ・ している : 2点
 - ・ していない : 0点
- 23 貴院における日本救急医学会専門医又は認定医
- ・ いない : Δ 1点（日本救急医学会指導医がいるなら減点しない）

24 貴院における日本救急医学会専門医数(認定医数及び認定医資格も持つ指導医数含む)

(1)センター専任医数

- ・ 3人以上 : 3点
- ・ 2人 : 2点
- ・ 1人 : 1点
- ・ 0人 : 0点

(2)センター外常勤医

- ・ 2人以上 : 1点
- ・ 2人未満 : 0点